

75 天台宗の古刹、玉泉寺

歴史的資産



受賞者：玉泉寺
 推薦者：清水 亨桐 さん

【推薦コメント】

和泉多摩川駅近くにある玉泉寺は、調布市の深大寺の末寺で、おしゃもじさまや不動明王などの仏像の巡行習俗が行われていたことでも知られています。境内には、観音像や地藏菩薩像、六地藏、稲荷の狐などの石仏や石像があり、霊場のおもむきを残しています。境内のボダイジュは市の天然記念物にも指定されています。

【講評】

玉泉寺は、1504年（永正元年）に尊祐という天台宗の僧によって開創されたといわれています。市の天然記念物に指定されているボダイジュは12mの高さがあり、山門脇で堂々とした姿を見せています。境内にあるお堂には、おしゃもじ様が祀っており、戦前までは、百日咳、風邪、のどの痛みなどを治してもらうために、お参りする人が少なくありませんでした。特に百日咳には霊験あらたかといわれ、子どもが百日咳になると、おしゃもじ様に奉納してある飯盛りのしゃもじを借りてきて、それを子どもの枕元に置くとか、そのしゃもじでご飯を盛って食べさせるなどすると、早く治るといわれていたそうです。あまり医学の発達していない時代に、地域の人たちから頼りにされてきたこの玉泉寺が、これからも狛江のまちの魅力の一つとして親しまれていくことを願って、選定しました。